

研修事例

後継者育成

支援先

結城紬産地

結城紬後継者育成研修

【内 容】

本研修は、平成 8 年度から茨城県の地場産業である結城紬の機織後継者育成を図る目的で実施しています。

結城紬産地では通常、機の織手が染色や下ごしらえ（機織りをする前の準備工程）を行うことはありませんが、本研修では機織技術を中心に全工程が理解できる研修内容となっています。

本年度は 4 名の研修生を受け入れており、研修修了後は県内の製織企業に所属し、産地の即戦力として本場結城紬の生産に携わっていくことになります。

これまでの研修修了生は、茨城県本場結城紬織物協同組合主催の「本場結城紬作品展」に毎年数多く入選するなど産地内でも高い評価を得ています。

また織手として経験を積んだ修了生の中には、オリジナルの結城紬や小物製品の開発に取り組むグループなどもあり、産地の活性化につながる動きの一つとして期待されています。

表1 H26年度 研修カリキュラム

	期 間	内 容
基礎研修	4～5 月	座学 機結び 糸取り等の基礎実技
第1ステップ	5～7 月	帯製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む。
第2ステップ	8～12月	着尺無地製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む。
第3ステップ	12～3月	着尺無地又は縞製織（手紬糸）染色 下ごしらえ等を含む。
縞製織実習	1～3 月	100帯状亀甲縞製織（※第3ステップと並行で実施）



図1 研修風景

（ ①糊付け ②糊付け ③オサ通し ⑤製織 ⑥小巻き ⑧前結び ④⑦研修生作品 ）

基礎となった事業

平成 26 年度 人材育成事業

現在の担当部門

紬技術部門 部 門 長 篠塚 雅子 TEL:0296-33-4154
 嘱 託 渡邊 直子
 主任研究員 中野 睦子